

枕崎市職員採用試験を実施します

平成20年度枕崎市職員採用試験を次のとおり実施します。

■採用職種・採用予定人員  
一般事務職 1〜2名

■受験資格  
①昭和54年4月2日以降に生まれ  
た者  
②高等学校（同等資格を含む）以  
上の学歴を有する者又は平成21年  
3月までに卒業見込みの者  
③採用後は、本市に居住可能な者

【欠格事項】

- ①上記の受験資格にかかわらず、次のいずれかに該当する者は受験できません。  
①日本国籍を有しない者  
②成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む）  
③禁錮刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者  
④枕崎市職員として懲戒免職の処分を受けていない者  
⑤日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

■試験の方法及び内容

試験は、第1次試験及び第2次試験とし、第2次試験は、第1次試験合格者に対して行います。  
【第1次試験】教養試験・事務適性試験・作文試験  
【第2次試験】面接試験（集団討論・個別面接）、健康診査（医療機関発行の健康診断書提出）

■試験の時期及び場所

日時 平成20年9月21日（日）  
第1次試験  
午前8時30分から  
場所 枕崎市市民会館  
枕崎市千代田町114番地  
【第2次試験】  
日時 平成20年10月中旬の予定  
場所 枕崎市役所

■受験手続及び受付期間

①受験申込書用紙の請求及び提出先  
〒898-8501 枕崎市千代田町27番地 枕崎市総務課職員係  
TEL0993721111  
（内線212）  
※受験申込書を郵便により請求する場合は、返信用封筒（角形2号・縦33cm×横24cm）に切手（120円）を貼り、宛先（申込者住所等）を明記して同封してください。

②受験申込締切日

平成20年8月25日（月）午後5時15分までに必着のこと

■合格発表

①第1次試験合格発表  
10月上旬までに、受験者全員に合否結果を文書で本人に通知します。  
②第2次試験合格発表  
10月下旬までに、受験者全員に合否結果を文書で本人に通知します。

■採用

最終合格者は、平成21年4月1日付けで採用の予定です。  
なお、受験資格に定める期限までに高等学校等を卒業できない場合は、採用を取消します。

■給与

給与は、枕崎市職員の給与に関する条例に基づき支給されます。



★甲子園出場おめでとう

枕崎中出身の2選手が鹿実を甲子園に導く



鹿児島実業高校3年

岩下圭君（美原町・左）

田野尻悠紀君（新町・右）

▼第90回全国高校野球選手権大会、鹿児島県予選。決勝戦で鹿児島工業を破り、4年ぶり16回目の甲子園出場を決めた鹿児島実業高校の歓喜の輪の中心に、枕崎中学校出身の二人の選手の姿がありました。その選手は、岩下圭投手と田野尻悠紀内野手。  
▼岩下投手は予選6試合中5試合に登板。準々決勝の鹿屋中央準決勝の樟南戦ともに完封勝利を収め、決勝戦でも9回を投げ2失点の好投をみせました。5試合投げて4点しか取られておらず、甲子園出場の一歩の立役者といっても過言ではありません。  
▼田野尻内野手は全試合に出場チームで2番目の打率となる4割1分7厘という好成績もさることながら、決勝戦では0対0の2回、2死2塁から先制適時打となる3塁打を放つなど、優勝に大きく貢献しました。

「甲子園での活躍の様子など、次号で紹介します」

★少女たちの力が爆発

ヒップホップダンスで九州初・全国準優勝



▶準優勝を果たした感激の涙の中、笑顔でピース。

NPO法人LCL  
ダンスチーム『ZEST』

▼全国チャレンジカップ第4回全国大会が7月5・6日、神奈川県々力アリーナで開催され、本市のNPO法人LCLのダンスチーム『ZEST』が団体戦のチャレンジベストフォーマン部門で見事に準優勝を果たしました。これは、2年に一度開催される大会で、南九州予選を一位で通過し、九州の代表として出場。準優勝は九州地区からは初めてという快挙です。  
▼このチームのメンバーは、平田愛美さん（桜山中3年）、宮原まりのさん（同2年）、橋口遥さん（同2年）、揚村美帆子さん（同1年）、宮下彩さん（枕崎中1年）の5名。高校生たちも出場する大会の中で、自分たちの力を存分に発揮しました。このほか、個人戦のサーキット部門でも平田さんが2位、宮下さんが7位と、素晴らしい成績を収めています。  
▼現在、9月21日に福岡市で開催されるOXYダンスバトル2008ヘッドハンター決勝大会に向けて、練習に励んでいます。

農業で働く女性たちの声を  
～市長出前トークを大塚「シンデレラ倶楽部」と



▲「シンデレラ倶楽部」の会員11名が、市長と語り合いました。

市長出前トークは、現在、まちづくりなどに精力的に取り組んでいる団体に向いて語り合い、それを市政の活力増進につなげることを目的に行うものです。  
今回は7月16日、以前広報紙で紹介した大塚菊生産者のお嫁さんたちでつくる「シンデレラ倶楽部」と、市長、市職員が語り合いました。  
子どもの医療費の低減、子育て支援策の充実などから花きの価格の安定、菊の消費拡大、雇用問題など、仕事、家事、育児をこなす女性たちならではの切実な声が、直接、市長に届けられました。